京都文学賞

第四回

作品募集・読者選考委員募集

作品募集

京都を題材とする未発表の「小説」を募集（ジャンル不問）

令和5年5月12日［金］20時まで

郵送の場合は、5月12日［金］消印有効｜WEBの応募フォームの場合は、上記日時まで

応募区分

一般部門	手書き原稿不可		28,000字以上 160,000字以内
中高生部門	手書き原稿も可	手書き原稿の場合	400字詰（20字×20行）原稿用紙で、20枚以上150枚以内
		パソコン原稿の場合	400字詰（20字×20行）原稿用紙に換算し、20枚以上150枚以内
海外部門	手書き原稿不可		8,000字以上60,000字以内

発表・表彰式：令和6年1月頃（予定）｜一般部門 最優秀賞1点：賞金100万円、出版化

最終選考委員：いしいしんじ（作家）、井上荒野（作家）、校條剛（作家・評論家）、読者選考委員の代表ほか

読者選考委員募集

作品選考に加わる方を一般公募（20名程度）

令和5年1月31日［火］20時まで

郵送の場合は、1月31日［火］消印有効｜WEBの応募フォームの場合は、上記日時まで

選考時期及び選考作品数

二次選考	令和5年7月中旬－9月中旬頃	1人10－15作程度（全読者選考委員が担当） *担当する作品数は、応募状況により変動する可能性があります。
最終選考	候補作品送付：令和5年9月中旬 選考会：令和5年12月頃	各部門から数作（読者選考委員 数名）

謝礼：選考作品40,000字までにつき500円分の図書カード｜結果通知：令和5年3月頃

作品・読者選考委員の応募先

京都文学賞ホームページ https://kyotobungakusyo.com/

郵送先 〒604-8567（住所不要）京都新聞COM内 京都文学賞実行委員会事務局「作品募集」係又は「読者選考委員」係

主催 京都文学賞実行委員会（京都市、京都新聞、一般社団法人京都出版文化協会 等）

協力 京都府書店商業組合、文化庁地域文化創生本部、朝日新聞出版、KADOKAWA、河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、集英社、小学館、祥伝社、新潮社、淡交社、ちいさいミシマ社、早川書房、PHP研究所、双葉社、文藝春秋、ポプラ社、毎日新聞出版

後援 京都市教育委員会、大学コンソーシアム京都

アートワーク 宮永愛子《life》2018｜アートワーク写真 宮島径｜ビジュアルデザイン 綱島卓也｜ロゴデザイン 高山燦｜制作協力 一般社団法人HAPS 芸術家×仕事コーディネート事業、MIZUMA ART GALLERY

問合せ先 京都文学賞実行委員会事務局（京都新聞COM事業推進局内） tel｜075-241-6172（平日午前10時－午後5時） fax｜075-222-2200 メール｜keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

本事業は、京都市の宿泊税による税収を活用して実施します。

詳細は京都文学賞ホームページをご参照ください。

https://kyotobungakusyo.com/

京都文学賞 検索

第四回となる今回は、過去最多の応募作品数となりました。京都文学賞の運営スケジュールを変更することについての上記の選考委員会の意見を踏まえ、京都文学賞の価値を更に向上させるため、新たな賞の創設を検討しています。これまでの作品傾向とは一線を画した、「明日も生きよう」と思わせてくれる、確かな未来を生み出す作品を心からお待ちしています。

令和二年度の第三回京都文学賞では、国内外から三部門合わせて七〇〇作品もの御応募を頂き、一般部門にて『備忘六』（出版化調整中）、中高生部門にて『静かに冴ゆる浄土』（祥伝社から刊行予定）が最優秀賞に輝きました。

気候変動、武力紛争、コロナ禍など、現代は「歩先が見通せない『不確実な時代』」と言われています。京都文学賞は平成」十年の「世界文化自由都市宣言」の翌年に創設されました。「京都（世界文化自由都市）を舞台に、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、ひとびとが、人間として、自由につどい、自由な文化交流を行う都市」という理想の追求が、平和のうちに、ここに自由について謳ってあります。まさに今こそ、この理想の追求が求められるのではないでしょうか。

Kyoto Literature Award

KYOTO

文化庁 京都へ　京都市 CITY OF KYOTO　京都文学賞 Kyoto Literature Award